

県・市指定文化財44件が初の同時公開！琉球漆器の優品80点を一気に見れるチャンス。
「守り伝える琉球王朝の美」—沖縄県・浦添市指定有形文化財と名品展—



しゅうるしばたんおながどりらでんしよく
朱漆牡丹尾長鳥螺鈿卓(16～17世紀)



くろうるしあおいもんきくらでんはこ
黒漆葵紋菊螺鈿箱(17～18世紀)



くろうるしやくばたんからくさちんきんじきろう
黒漆孔雀牡丹唐草沈金食籠
(16～17世紀)



しゅうるしかちょうらでんはくえみつだえつくえ
朱漆花鳥螺鈿箔絵密陀絵机(16～17世紀)



くろうるしばたんからくさでんしよく
黒漆牡丹唐草螺鈿卓(18～19世紀)



くろうるしうりゅうらでんおおぼん
黒漆雲龍螺鈿大盆(18～19世紀)



しゅうるしばいげつらでんろつかくぼん
朱漆梅月螺鈿六角盆(16～17世紀)



くろうるしさんすいろうかくらでんちゅうおうじよく
黒漆山水樓閣螺鈿中央卓
(18～19世紀)

りゅうきゅうこうえきこうずびょうぶ
琉球交易港図屏風(19世紀)



くろうるしかちょうらでんはくえみつだえうるしえぼん
黒漆花鳥螺鈿箔絵密陀絵漆盆
(18～19世紀)

日本初の 漆芸専門美術館

浦添市美術館は、16世紀から現代までの優れた琉球漆器のコレクションを中心に、日本をはじめ周辺諸国の漆芸品も収集しています。常設展示室では、収集した漆芸品を中心に80～100点ほどを展示し、年3回テーマを設けて展示替えを行っています。

漆器を通して沖縄の歴史や アジアの漆文化を伝えたい

浦添市美術館館長 宮里正子



今年2月、浦添市美術館は開館30周年を迎えます。美術館は、当時の市長が浦添を文化都市にする構想のもと、琉球王国を代表する工芸品の漆器を通して先祖の気概や誇りを伝えていきたいとの思いから建てられた国内初の漆の美術館です。

廃藩置県や沖縄戦により、多数の琉球漆器が沖縄から消失してしまいました。そんな状況のもと、県外のコレクターから漆器を譲り受けて美術館を開館しました。当初は2百点ほどでスタートした漆器も現在は約2千点を所蔵しています。

漆の文化は欧米にはない、アジア独特の文化です。漆器は日本、中国などが有名ですが、ミャンマー、タイなどの東南アジアでも漆器が生活の中に息づいています。広い地域の漆器を鑑賞できるのも、浦添市美術館の魅力だと思います。今後は、時代を担う子ども達、特に浦添の子ども達に、しおり作りなどの漆に関連した体験教室を通して、琉球王国の歴史や文化に興味を持ってもらえたらと思います。

平成2年

- ・浦添市美術館開館
- ・企画展「ヨーロッパ近代絵画の流れ」
歴代入場者数1位(83,769人)

平成4年

- ・石川県輪島漆芸美術館・浦添市美術館友好提携調印



▲輪島との友好提携調印式

平成6年

- ・企画展「いわさきちひろ展」
歴代入場者数3位(52,585人)

平成12年

- ・企画展「特別ナポレオン展」
歴代入場者数4位(46,574人)

平成14年

- ・来館者100万人突破
- ・企画展「エジプト展—永遠の美—」
歴代入場者数2位(59,661人)

平成21年

- ・来館者150万人突破

平成27年

- ・来館者200万人突破



▲入館者数200万人達成の時

平成28年

- ・企画展「宇宙散歩byMEGASTAR展」
歴代入場者数5位(46,324人)

30周年記念特別イベント

体験コーナー

【缶バッチ】

【漆スゴロク】

【なりきり顔出しパネル】

【さわれる漆器】

【漆のしおりづくり】

▲ホームページ

▲Facebook

SNS利用で観覧料割引など
お得な情報盛り沢山!

開館30周年記念展
「守り伝える琉球王朝の美」
—沖縄県・浦添市指定有形文化財と名品展—

指定文化財の琉球漆器44件(48点)を含む優品を一挙公開する初の特別展。

会期 1月26日(日)～5月17日(日)
場所 常設展示室
観覧料 高校生以下無料／
一般200(160)円
大学生130(100)円

※()内は20人以上団体割引
※日・英・中音声ガイド貸出無料
※毎週日曜日は当館学芸員による
常設展ギャラリートークを開催します。
(他の催事と重なる場合は中止)

参加費 無料

浦添市市制施行50周年記念プレ事業・
浦添市美術館開館30周年記念シンポジウム
「浦添市美術館のこれからを語る」

開催日 2月1日(土) 午後2時～午後5時30分
場所 浦添市美術館講堂／定員50人(浦添市民優先)
申し込み 1月14日(火)～24日(金)※電話受付先着順

1. 基調講演①(30分)
「浦添市美術館開館の理念や展覧会について」
【講師】宮城 篤正 氏(初代館長・元沖縄県立芸術大学学長・美術史研究者)

基調講演②(30分)
「世界に誇れる漆の美～日本・琉球の漆の特色～」
【講師】室瀬 和美 氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝))

2. シンポジウム
「浦添市美術館のこれからを語る」(60分)
【司会進行】美術館館長
【パネリスト】
・宮城 篤正 氏(初代館長・元沖縄県立芸術大学学長・美術史研究者)
・室瀬 和美 氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝))
・前田 孝允 氏(漆芸作家(沖縄県指定無形文化財【琉球漆器】技術保持者))
・四柳 嘉章 氏(友好館長(石川県輪島漆芸美術館長・漆芸研究者))
・柴 二三夫 氏(浦添市前田小学校 元校長・浦添市美術館 協議会委員)
・浦添市長 松本哲治

3. 展示解説(ギャラリートーク)・見学案内(60分)
※シンポジウム参加者は観覧料無料